

令和5年3月

世田谷区立三宿小学校
校長 村田 奈緒美 様

世田谷区立三宿小学校
学校関係者評価委員会
委員長 伊藤 一弥

令和4年度 学校関係者評価報告書

令和4年11月に実施された「学校関係者アンケート」の分析と評価結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

調査方法は全児童・保護者・地域を対象に、アンケート方式で行い、兄弟が在籍している保護者にもそれぞれの学年での提出をお願いしました。また、アンケート結果の検討にあたり、本委員会では各項目について、選択肢「A：とても思う」と選択肢「B：思う」を合わせて集計し、80パーセント以上となった項目については、『概ねよい（一定の成果を得た肯定的意見）』という判断をしました。

【アンケート配布数と回収率について】

	令和3年度			令和4年度		
	保護者	地域	児童	保護者	地域	児童
配布数	260	29	260	272	29	1-4年184 5-6年88 計272
回収数	232	19	259	138	18	1-4年180 5-6年80 計260
回収率%	89%	66%	99%	51%	62%	1-4年98% 5-6年91% 計96%

【アンケート全体について】

- ※1 アンケート集計表の、A+B（とても思う+思う）、C+D（あまり思わない+思わない）、E（分からない）で、%表示で記載してあります。また、数値は小数点以下を四捨五入してあります。
- ※2 1年生から4年生の児童アンケートと、5・6年生のそれは、学齢に合わせて一部質問内容に違いがあります。学年によって内容が違うものについては、対象学年を表示しました。
- ※3 昨年度と同じ質問については、昨年度の結果を併記しました。（ ）内が昨年度の結果です。

1 項目別評価結果 (数値の単位は%)

<学習指導について(児童・保護者)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
先生は、課題(めあて)について、自分が考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。	9 0 (86)	7 (6)	3 (8)
先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	8 3 (86)	8 (6)	8 (8)
授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	9 2 (93)	5 (3)	4 (4)
先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	9 0 (89)	7 (7)	2 (4)

・すべての項目において良好な結果であると考える。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	8 0 (79)	1 3 (9)	7 (13)
本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	7 0 (66)	2 0 (20)	1 1 (15)
本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	8 5 (82)	6 (8)	9 (9)
本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	6 9 (75)	1 8 (14)	1 3 (11)

・タブレットの活用について児童の意識との差が認められる。活用をさらに進めていただきたい。

<生活指導について(児童・保護者・地域)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
私は、学校のきまりを守って、行動している。	8 7 (81)	7 (14)	6 (5)
学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	9 0 (87)	8 (6)	3 (7)
先生に注意されたことは、理解できる。	9 0 (89)	5 (7)	5 (5)

・すべての項目において良好な結果であると考える。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、学校での過ごし方やルールについて子供に考えさせる指導をしている。	7 7 (77)	1 7 (11)	7 (12)
本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子供が理解している。	7 9 (79)	1 7 (9)	4 (11)

・学校での指導が家庭にも伝わる工夫をしていただきたい。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
通学している子ども達は、交通ルールなどを守っている。	8 3 (89)	0 (0)	1 7 (11)

・良好な結果であると考える。

<学校行事について(児童・保護者・地域)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
学校行事は、楽しい。	9 3 (94)	5 (4)	1 (2)
学校行事は、達成感がある。	8 5 (89)	1 0 (8)	5 (2)
先生は、児童の意欲を大切にしている。	8 8 (88)	3 (4)	8 (8)

・良好である。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
学校行事は、子どもにとって楽しい。	9 6 (96)	3 (4)	1 (1)
学校行事は、子どもにとって達成感がある。	9 3 (98)	4 (1)	2 (1)
本校は、子どもの意欲を大切にしている。	8 1 (91)	1 2 (5)	7 (4)

・良好であるが、子どもの意欲を生かす指導をさらに進めていただきたい。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
学校行事の内容は充実している。	8 9 (68)	6 (5)	6 (26)
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	7 2 (63)	0 (11)	2 8 (26)

・地域への案内については現状致し方ない。

<キャリア教育について(児童・保護者)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
5-6年 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	6 1 (76)	2 4 (14)	1 5 (10)
1-4年 自分が好きなこと、がんばったことについて、考える授業がある。	8 3	8	9
5-6年 目標をもち、その実現に向けて努力している。	7 0 (78)	2 1 (14)	9 (9)
1-4年 私は、係や当番の仕事を努力している。	8 9	5	6
5-6年 区立中学校に関する情報が提供されている。	3 6 (17)	2 8 (17)	3 6 (66)

・キャリア教育は多岐にわたるとのことであるが、児童にもキャリア教育であることを意識させながら指導していくことが必要ではないか。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	6 6 (56)	1 9 (21)	1 5 (23)
本校では、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	4 7 (46)	2 9 (24)	2 4 (31)

・設問に工夫が必要だと考える。

<学校運営について(保護者・地域)>

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	6 9 (71)	1 5 (18)	1 6 (11)
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	8 0 (87)	1 2 (3)	7 (10)

・重点目標は折に触れて周知していただきたい。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
学校の重点目標が明確である。	8 3 (79)	0 (5)	1 7 (16)
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	7 2 (47)	0 (5)	2 8 (47)

・順当な結果である。

<教職員について(児童・保護者)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
先生たちは、ていねいに指導してくれる。	9 2 (93)	4 (4)	4 (3)
先生たちに相談できる。	8 3 (83)	1 0 (10)	7 (7)

・ 昨年度同様、本設問はバイアスを強く感じる設問であり、区の共通質問として適さないと考える。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、丁寧に指導している。	8 2 (86)	1 4 (7)	4 (8)
本校は、子どものことを相談しやすい。	7 2 (85)	2 5 (12)	4 (4)

・ 同上

<学校からの情報提供について(保護者・地域)>

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	8 9 (96)	1 1 (4)	0 (0)
「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	2 5 (43)	4 6 (34)	3 0 (24)
本校は、学校公開や保護者会などで児童の様子が分かる。	9 1 (86)	8 (11)	1 (3)
本校は、ホームページやメールなどで保護者に情報を提供している。	8 4 (87)	1 2 (11)	4 (2)

・ 幼稚園は今年度「学び舎」に加わったため、認知度は低いと考えられる。中学校については継続して周知を進めていただきたい。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子がわかる。	1 0 0 (100)	0 (0)	0 (0)
「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	8 9 (68)	6 (16)	6 (16)
学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよくわかる。	6 1 (58)	0 (5)	3 9 (37)
学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	8 3 (68)	0 (5)	1 7 (26)

・ 順当な結果である。

<家庭と学校との連携について(保護者)>

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
私は、学校公開にすすんで参加している。	9 0 (90)	8 (9)	2 (1)
私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。	6 1 (69)	3 3 (28)	7 (3)
私は、今年度の学校重点目標を理解している。	4 1 (50)	3 0 (33)	2 9 (17)

・ 区の設問意図がわかりかねる。

<地域との連携について(保護者・地域)>

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	5 1 (54)	1 8 (19)	3 1 (28)
本校は、地域の活動などに協力的である。	5 0 (53)	1 3 (15)	3 7 (32)
本校は、地域に情報を提供している。	4 3 (50)	1 2 (16)	4 5 (35)

・ 実際に地域人材は活用されており、学校だより等で周知されている。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
地域の人や施設を教育活動に活かしている。	6 7 (47)	1 1 (16)	2 2 (37)
学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	4 4 (42)	1 7 (16)	3 9 (42)
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	3 9 (42)	2 2 (16)	3 9 (42)

・ 同上

< 学校の安全性について(保護者・地域) >

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
学校は、安全な学校づくりを進めている。	8 2 (84)	1 0 (8)	8 (8)
本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	9 3 (94)	2 (1)	4 (5)
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	8 5 (87)	9 (8)	7 (5)

・ 良好である。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	8 9 (79)	0 (11)	1 1 (11)
学校は、安全性を高めようと、地域と協力している。	7 2 (63)	0 (11)	2 8 (26)

・ 順当な結果である。

< 学校全般について(児童・保護者) >

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
学校生活は楽しい。	8 7 (89)	8 (7)	5 (3)
学校が好き。	8 1 (83)	1 5 (13)	4 (4)
私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	8 0 (76)	8 (16)	1 1 (8)
私は、塾で学習している。	5 8 (59)	3 2 (30)	1 0 (12)
5-6年 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	3 8 (20)	4 0 (31)	2 3 (49)

・ 宿題・e-ラーニング、塾の設問は適切でないとする。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	8 7 (92)	1 1 (5)	2 (2)
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	6 1 (54)	3 9 (46)	0 (1)
本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	3 8 (34)	3 2 (39)	3 0 (28)
本校の教育活動に満足している。	7 4 (79)	2 3 (16)	3 (5)
子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	6 9 (80)	2 7 (17)	4 (3)

・ 昨年度結果と似た傾向が表れている。児童の活動を充実させることにより改善していくものとする。

<独自項目について(児童・保護者・地域)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
わたしは、自分から進んで学習に取り組んでいる。(ノートをきちんと書く、先生の話聞く、自分の考えをもつ・書く・伝える)	8 2 (83)	1 0 (11)	7 (6)
わたしは、自分から進んであいさつをしている。	8 5 (82)	1 0 (15)	4 (3)
わたしは、友達に親切にしている。	8 6 (85)	3 (7)	1 1 (8)
わたしは、自分のことが好きである。	6 3 (55)	2 4 (27)	1 2 (18)
わたしは、休み時間や下校後に進んで体を動かしている。	6 9 (69)	2 5 (23)	6 (8)
わたしは、手洗いうがいなど健康に気を付けている。	8 8 (87)	6 (9)	5 (4)

・概ね良好である。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。	8 5 (82)	1 2 (15)	3 (3)

・良好である。

地域アンケート集計	A+B	C+D	E
本校の子どもたちは、元気にあいさつをしている。	7 2 (68)	1 1 (21)	1 7 (11)

・順当な結果である。

2 まとめ

いまだコロナ禍による制限は多少残っているものの、学校内での生活や活動はほぼ平常時に近付いていること、社会科見学や遠足についても実施しているとの報告を学校から受けた。地域の方を行事や学校公開に招待することはできなかったようだが、行事運営に地域の方の協力が得られたことは喜ばしいことである。今後、地域の方も各行事等の参観を行うことができる状況になっていくことを望む。

今年度のアンケート内容は、一部学校側で学齢に合わせた形に変更しているものはあるが、区の共通質問は基本的に昨年度と同一である。昨年度も触れたが、質問意図の分かりかねる質問があり、区には是非とも質問項目の改善をお願いしたい。

保護者アンケートの回収率の大幅な低下について学校に質問したところ、昨年度同様 Web 回答方式であり、回答のリマインドも昨年度同様に行ったとのことである。昨年度は学校独自で Web 回答方式のアンケートフォームを作成したのに対し、今年度は、選択式の質問に関しては区の委託業者が作成したフォーム、自由意見については学校が作成したフォームであった。アンケートが2つに分割されていたことにより回答率に影響を及ぼした可能性はある。より良い学校づくりの参考とするためのアンケートであるので、保護者の協力をお願いするとともに、学校と保護者の負担とならないようにご配慮願いたい。

学校評価委員会が昨年度のアンケートで着目していたものは、独自項目（学校独自の質問）児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」という質問であったが、今年度の結果では肯定的回答が63%と向上が見られる。学校での活動が平常時に近付き、児童一人一人が活躍できる場面が増えたことや、それによる成功体験の機会も増えたことによるものと考えられる。児童の活躍の場を充実させる取り組みを継続していくようお願いしたい。

自由意見には施設面や家庭への情報提供、学級の実態についてなど、様々な意見があり、学校側への確認を行った。意見として妥当と判断できるものについては学校評価委員会として工夫改善を求めていく。

タブレット端末についての意見が複数あり、学校側から実情の説明を受けた。選択式アンケートの映像やタブレット端末を用いての分かりやすい授業づくりについて、児童アンケートと保護者アンケートの結果に差異が認められるが、児童の満足度は高いようである。ただし、授業内での活用の度合いは授業者により違うとのことである。タブレット端末を使うこと自体が目的ではなく、児童の学習をより効果的にするための端末利用が本来の目的であるので、その目的に沿った活用の拡充をお願いしたい。

また、アンケートの結果から感じるものとして、学校と PTA に対して負担が大きいのではないかという印象を受けた。区としてできる工夫をお願いしたい。

子ども達の生活や学習の充実を実現するためには、学校と家庭、そして地域の連携と協力が必要である。アンケートの結果をご覧いただき、それぞれの立場で子ども達に対してどんなことができるかを考えていただけると幸いである。

評価項目		記述(改善案)						
		A	B	C	D	肯定	否定	
I 学校経営方針について ①「探究的な学び」		I 学校経営方針について ①「探究的な学び」						
1	ねらいを明確にした授業を行っている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	1
2	主体的・対話的な深い学びを目指し、自力解決・集団解決などを充実させた1時間の授業の流れを作っている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	2
②「キャリア教育の推進」		②「キャリア教育の推進」						
3	キャリアパスポートを効果的に活用し、自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択し、望ましい勤労観、職業観を身に付けられるように指導している。	2	13	0	0	100.0%	0.0%	3
③「ICTの活用」		③「ICTの活用」						
4	児童の学習意欲や学習効果・効率を高めるためにICT機器、タブレット端末を活用している。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	4
II 重点目標について ①きまりを守り落ち着いた学校生活を送れる児童の育成		II 重点目標について ①きまりを守り落ち着いた学校生活を送れる児童の育成						
5	あいさつの指導によってあいさつのできる児童に育ってきている。□	6	7	3	0	81.3%	18.8%	5
6	学校のきまりや基本的な生活のルールを児童に指導したことで生活規律を守る児童に育ってきている。	7	7	2	0	87.5%	12.5%	6
7	学校内の生活面で課題が発生したときは課題を素早く把握し、全職員で解決にあたっている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	7
②基礎的な学力を身に付け粘り強く学ぶ児童の育成について		②基礎的な学力を身に付け粘り強く学ぶ児童の育成について						
8	学習習得調査の結果についての話し合いを受け、学力向上の方策を行っている。	1	12	1	0	92.9%	7.1%	8
9	授業や日常生活において児童の考えを問う機会を多くもち、自分の考えを言えるように指導している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	9
③すすんで体を動かし体力の向上に取り組む児童の育成について		③すすんで体を動かし体力の向上に取り組む児童の育成について						
10	体育的行事に対して、めあてをもって取り組ませている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	10
11	短なわ週間、持久走月間など児童の体力向上へ向けて進んで指導している。	7	8	1	0	93.8%	6.3%	11
12	休み時間に体を動かす楽しさを児童が味わえるような働きかけをしている。	2	14	0	0	100.0%	0.0%	12
13	体育の授業づくりを工夫し、児童が主体的に取り組む運動の楽しさを感じる児童が育ってきている。	7	8	1	0	93.8%	6.3%	13
III 教育目標について		III 教育目標について						
14	「やさしい子」に育ってきている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	14
15	「がんばる子」に育ってきている。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	15
16	「よく考える子」に育ってきている。	4	11	1	0	93.8%	6.3%	16
IV 地域とともに子どもを育てる教育		IV 地域とともに子どもを育てる教育						
17	家庭教育の充実に向け、必要な情報を提供している。	6	9	1	0	93.8%	6.3%	17
18	教職員が教育目標を共通理解し、児童・保護者・地域の方々へ説明している。	4	12	0	0	100.0%	0.0%	18

・あいさつについては、日々学級でも指導をしている。以前よりは、担任にはあいさつをするようになったが、はきはきとしていない。よくあいさつができていた児童を価値付けし、あいさつをする風潮をあたりまえにしていく。
 ・あいさつの意義などを子どもたちに指導しているが、自らあいさつをする児童は少ない。引き続き声掛けを続けていき粘り強く指導していく。
 ・低学年児童はよくあいさつができていた。高学年児童が手本となるよう声掛け、指導が必要である。
 ・小さなことでも良い行いはすぐに褒めて、自己肯定感を付けさせる。ルールを違反する児童には、個別指導を継続していく。

・検討の時間を設け、対応を考えなければならない。

・短なわしか行っていないが、児童に目標をもたせて行うことができなかった。15分程度時間をとり、なにをどのように頑張るかを考えさせてから取り組むようにさせていく。

・授業づくりの工夫はしているが未だ不十分である。児童の実態に合わせて工夫を継続していく。

・一部の児童だけが考えている集団になっている傾向がある。考えを共有する時間をもっと多くとるようにする。

19	保護者からの相談に誠実に対応している。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	19	
V 未来を担う子どもを育てる教育									V 未来を担う子どもを育てる教育
20	各教科などの年間授業時数の確保をしている。	14	0	1	0	93.3%	6.7%	20	
21	週案を作成・提出し、計画的に授業を進めている。	15	0	0	0	100.0%	0.0%	21	
22	始業終業時刻を守り、時間を大切に授業を行っている。	14	1	0	0	100.0%	0.0%	22	
23	朝学習を計画的に行っている。	4	11	0	0	100.0%	0.0%	23	
24	少人数指導の成果が上がっている。	4	6	3	0	76.9%	23.1%	24	<ul style="list-style-type: none"> ・コース編成は、学力と人間関係を考え行う。自分の考えだけでなく、友達の考えについてもしっかり考えさせる習慣を身に付けさせる。 ・算数後に子どもたちが授業への不満を訴えてくることが多々ある。クラス分けの際、学力だけでなく人間関係も気にして行う。 ・授業計画を立てるなど、方向性を示しながら進めていく必要がある。
25	教材研究を行い、指導方法の工夫・改善を図っている。	9	5	1	0	93.3%	6.7%	25	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究を行う時間がいつも時間外、もしくは間に合わないことが多い。効率的に仕事も行っていきたいが、自分の中での優先順位をつけたい。子供の学力を伸ばす工夫を考えたい。
26	個に応じた指導を適切に行っている。	10	5	0	0	100.0%	0.0%	26	
27	体験的・問題解決的な学習を進めている。	9	6	0	0	100.0%	0.0%	27	
28	基礎的・基本的な内容の定着を図っている。	10	4	1	0	93.3%	6.7%	28	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、基礎基本となる問題を繰り返し取り組んでいく。
29	評価規準を明確にして評価している。	7	7	1	0	93.3%	6.7%	29	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に評価規準を明確にできていない教科がある。授業準備の際、合わせて考える。
30	情報機器を積極的に活用している。	8	6	0	0	100.0%	0.0%	30	
31	学校図書館を積極的に活用している。	9	5	1	0	93.3%	6.7%	31	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習をする際、児童に図書室の本の活用を進めるが活用している児童は少ない。また、読書をする児童も少ないので、図書室利用する機会を増やし、児童の学習の選択肢を増やしたり、幅を広げたりしていく。
32	集団の一員として、よりよい生活づくりに参画させ、自主的実践的な態度を育てている。	7	7	1	0	93.3%	6.7%	32	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として貢献しようとする児童が少ない。そのため、良い行動をみんなの前で称賛し価値付けしていく。
33	行事の内容、日時、進行は適切に行われている。	8	7	0	0	100.0%	0.0%	33	
34	年間指導計画に基づき計画的に指導している。	7	8	0	0	100.0%	0.0%	34	
35	総合的な学習の時間の評価を適切に行っている。	3	9	1	0	92.3%	7.7%	35	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち指導をすることが不十分であると感じる。そのため、学年間で話し合いながら計画を立てていく。
36	学校行事の準備や練習を適切に行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	36	
37	学校行事の工夫・改善を図っている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	37	
38	特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心とした支援体制を構築し、特別支援教育を組織的に推進している。	9	6	0	0	100.0%	0.0%	38	
39	個別指導計画等が作成され活用している。	6	9	0	0	100.0%	0.0%	39	
40	支援学級との交流の中で相手の立場に立って考える思いやりのある児童が育ってきている。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	40	
41	泉の学び舎を意識して他の小学校、三宿中学校との連携を深めている。	3	7	6	0	62.5%	37.5%	41	<ul style="list-style-type: none"> ・現在では、児童と三宿中との関りはあいさつ運動と三宿祭りのお手伝いのみである。他の小学校と何か教科等で関りがあればと思う。 ・学び舎公開授業以外で他校と交流していない。できる機会を模索し、実践していければと思う。 ・コロナ禍ということで、交流をもてていない。児童が中学校での生活を意識できるような活動をしていく。 ・コロナ禍なので限界はあるが、あいさつ運動のように少しずつ交流を再開できるとよいと思う。
IV 信頼と誇りのもてる学校づくり									IV 信頼と誇りのもてる学校づくり

42	校長の経営方針は明確に示している。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	42	
43	校長は、リーダーシップを発揮している。	15	1	0	0	100.0%	0.0%	43	
44	教職員の服務規律への自覚が高く、かつ守られている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	44	
45	校内研究が授業力向上、日々の授業改善につながっている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	45	
46	世小研等の研修・研修会に積極的に参加している。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	46	
47	日常の健康観察や健康診断等が適切に行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	47	
48	計画的・組織的に安全点検・安全指導を行っている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	48	
49	事故・災害等に迅速に対応できる体制を整備している。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	49	
50	通学路の安全点検等は適切に行っている。	7	7	1	1	87.5%	12.5%	50	・教職員全員で安全点検をする時間はあったが、個人的に行えてはいない。自宅に帰る前に通学路付近を通る等、安全点検をする。 ・今後PTAと行います。
51	犯罪被害等防止の取り組みは適切に進めている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	51	
52	コスト意識をもち、予算や資源を有効に活用している。	8	7	0	0	100.0%	0.0%	52	
53	私費会計の徴収・会計処理が適正に行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	53	
54	学校から発信する文書は、校長(副校長)の決裁を得ている。	14	1	0	0	100.0%	0.0%	54	
55	指導要録等の記入・点検・整理は適切に行っている。	10	5	0	0	100.0%	0.0%	55	
56	個人情報適切に管理している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	56	
V 教育環境の整備								V 教育環境の整備	
57	日常的な施設、設備の点検や管理は適切に行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	57	
VI その他								VI その他	
58	学校運営委員会の活動が活発に行われている。	11	3	0	0	100.0%	0.0%	58	
59	教育活動を保護者や地域の方に積極的に公開している。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	59	
60	学校協議会の活動が活発に行われている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	60	
61	各分掌の取り組み内容や計画が明確で適切に進めている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	61	
62	教職員一人一人が主体的、組織的に教育活動を行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	62	
63	学校評価は適切に行っている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	63	
	生活								・廊下歩行や右側通行のポスターや張り紙を新たに掲示すべきと考える。
	特活								・読書月間と短縄週間の時期をずらして行くと、それぞれの活動に児童を促しやすいと考える。
	行事								・遠足や社会科見学を9月初めから集中しないよう計画することで、引率の教員にゆとりがでできると考える。
	研推								・「ゴールイメージに向かう」という研究テーマであるため、領域ごとの分科会で行う方が各学年の意見を取り入れながら授業研究を行うことができると考える。

次年度（令和5年度）に向けた改善方策

重点目標1

1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

2 目標設定の背景と具現化への方策

本校児童の自己肯定感・自己有用感は昨年度結果と比較し向上が見られるが、まだ十分な状態とは言えない。授業をはじめ、学級での活動、学校行事などにおいて、児童が主体的に活動し、役割を果たす機会をさらに創出する。また、児童の努力を教職員、他の児童が賞賛するようにしていく。

3 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」の設問で、肯定的回答の割合を80%以上にする。

重点目標2

1 目標

地域協力者を活用した学習活動を拡充する。

2 目標設定の背景と具現化への方策

コロナ禍の影響により、地域や外部協力者との関係が希薄となり、地域協力者を活用した学習活動が減っていた。令和5年度は地域・外部協力者に協力を求め、拡充していく。

3 数値による指標

保護者・地域アンケートの「本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。」の設問で、肯定的回答の割合を70%以上にする。

重点目標3

1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

2 目標設定の背景と具現化への方策

キャリア教育として様々な学習活動を行っているが、児童自身が当該学習活動をキャリア教育と認識していないことが多く、保護者の認知度合いも低い。キャリアパスポートを活用し、児童の学習の軌跡を可視化していくとともに、保護者に確認をお願いすることにより、家庭への周知を行う。

3 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を70%以上にする。

令和4年度 重点目標の成果と課題

重点目標1

1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

2 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」の設問で、肯定的回答の割合を70%以上にする。

3 成果と課題

昨年度結果は55%、今年度結果は63%であり、向上は見られたものの目標を達成していない。児童が活躍できる場の設定が十分でないことが要因と考えられる。来年度は学校行事等の内容を工夫し、さらに児童が中心となり活動を行うようにしていく。

重点目標2

1 目標

タブレット端末のさらなる活用を行う。

2 数値による指標

児童アンケートの「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」の設問で、肯定的回答の割合を90%以上にする。

3 成果と課題

昨年度結果は89%、今年度結果は90%であった。児童1人1台ずつ貸与されたタブレット端末は、教員の努力により活用が進んでいる。しかし、担任のICT機器に関する知識は一律でなく、学級ごとに活用の度合いに違いが生じている。研修会などにより、活用法の共有を行っていく必要がある。

重点目標3

1 目標

児童がすすんであいさつができるようにする。

2 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分から進んであいさつをしている。」の設問で、肯定的回答の割合を85%以上にする。

3 成果と課題

昨年度結果は82%、今年度結果は85%であった。教職員が率先してあいさつをする取り組みを行い、学級でも指導した成果が出ている。引き続き取り組みを継続し、あいさつをすることが自然な状態にしていきたい。